

楽しくて力のつく学校

石部小学校 校報 第74号

平成27(2015)年2月17日

電話:77-2030

Fax:77-6733

ホームページ [http://www.edu-konan.jp/ishibe-el/]

## 石部小学校 学校応援団総会の開催について

立春もすぎ、平成26年度も残すところ一月余りとなりました。

応援団の皆様には、子どもたちの安全確保や環境整備、諸行事実施の際のご支援等、いろいろとお世話になりまして、本当にありがとうございます。

さて、すでにご案内を差し上げておりますとおり、今年度の学校応援団総会を下記のとおり開催いたします。今年度の総会は、例年の事業報告・交流会に加えて、来年度より指定を受けるべく準備を進めております「コミュニティー・スクール」にかかる推進委員会からの報告もさせていただきます。コミュニティー・スクールの組織や運営について、応援団の皆様にご理解いただき、今後ともご協力いただきたいと考えておりますので、何かとご多用のことと存じますが、是非ご参会くださいますようお願いいたします。

日 時	平成27年3月5日(木) 19:30~21:00
会 場	石部文化ホール2階 会議室
内 容	平成26年度の事業報告 コミュニティー・スクールについて ボランティアの方々との交流



## 学校生活の一コマ



昔の道具「七輪」を使って餅を焼いています。(3年生の社会科です。)



運動場は使えませんが、体育館で元気にドッジボール大会です!!



石部南小で行われた石部中学校区・校区連携の教員研究会の様子です。教員も研修に励んでいます。



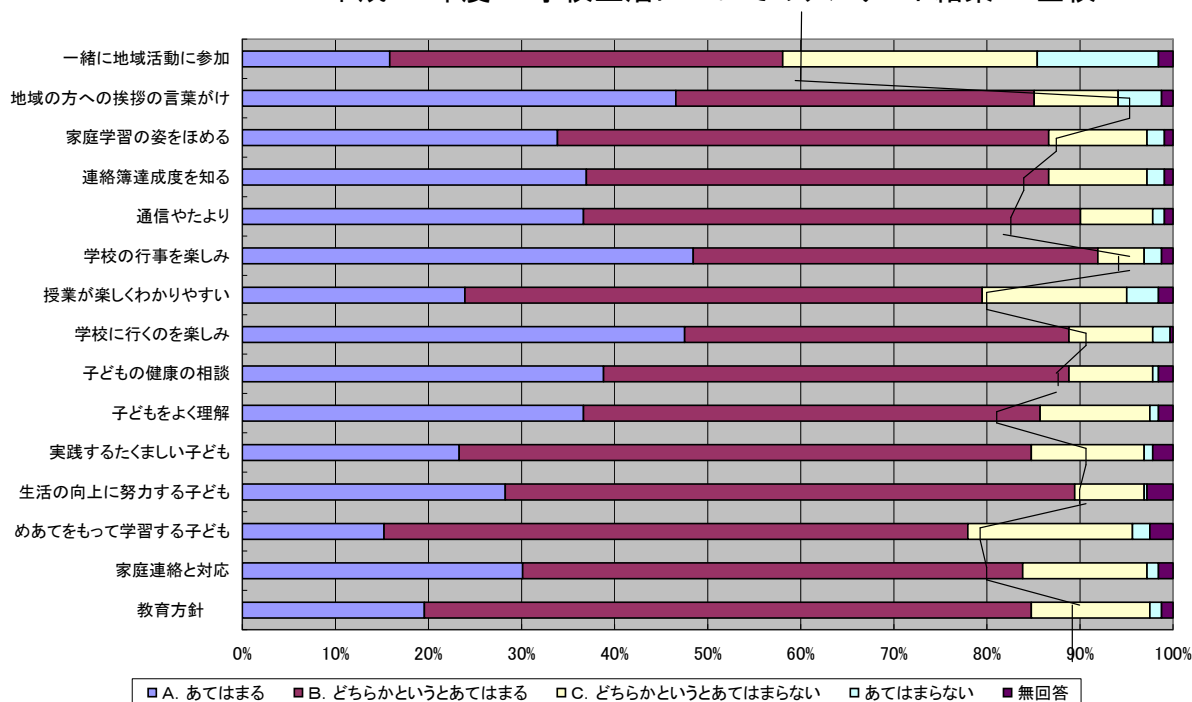
「いしべっこ」さんに、コマ回し・けん玉・わりばし鉄砲などを教えてもらって楽しむ1年生。



上は、5、6年生のスキー実習と昼食の様子です。

## 学校生活についての保護者アンケートへのご協力、ありがとうございました。

平成26年度 学校生活についてのアンケート結果 全校



上は、本年度の学校評価の「保護者アンケートの結果」です。判断の基準として、A・B合わせて80%以上あれば、一定の評価をさせていただいているものと考えております。A・B合わせて80%に満たない項目は、「親子が一緒に地域活動に参加する。」「授業が楽しくてわかりやすい。」「子どもがめあてをもって学習している。」の3つです。この3項目が他の項目に比べて評価が低いという状況は、昨年と同様であり、本校における恒常的な課題として受け止めなければならないと考えています。

「親子が一緒に地域活動に参加する」ことは昨年も59.4%であり、大変低くなっています。このことについては、来年度より発足するコミュニティー・スクールの中で、地域の方々とともに地域活動のあり方について議論を深めていきたいと思っています。

「授業が楽しくてわかりやすい」が、わずかですが80%を切りましたことについては、学校として大変重要な課題であると受け止めています。現在、学校では、教員の校内研究として、子どもにもよくわかるような「学習のめあて」の提示、子どもが自ら考え主体的に学習に臨めるよう「書くこと」「話し合うこと」を授業の中に取り入れること、授業の終わりには「めあて」に即して子どもが自分の言葉で「振り返り」を書くこと、家庭学習の連携も視野に入れた「ノートづくり」など『よりよい授業づくり』の取り組みを推進しています。「学校での学び」について、お気づきの点があれば、忌憚のないご意見をお寄せいただければと思います。

「めあてをもって子どもが学習している」についても、昨年とほぼ同様の傾向です。「なんのために勉強するのか?」を、なかなか子どもたちが自覚できない現状が伺えます。世の中全体が目標を見失いがちな時代ですので、「めあて意識」を子どもにもたせるためには、大人の側にもそれなりの意識が必要です。学校においては、20年後、30年後に今の子どもたちが身につけていなければならない力（課題解決能力、粘り強さ、人とともに生きる力、コミュニケーション能力等）を見据えて様々な教育活動に取り組んでいますが、今後は、さらに「自分自身をあるいは社会をよりよいものにしようとする意欲」につながるような教育実践が重要であると考えています。また、ご家庭におきましては、日頃の親子の会話の中で、将来の夢や希望、それを達成するための道筋、努力することの意義、加えて、新聞やテレビで報じられる社会の出来事等を折りにふれてお話いただければと思います。いずれにいたしましても、成熟した時代を生きる子どもたちにとって「めあて」をもつことは、たくましく生きていく上で最も大切なことですので、このことについても、コミュニティー・スクールの中で、議論を深めていきたいと考えております。